

事業名 : 自然エネルギーの普及モデル構築等支援委託業務	
会議名称	運営会議
開催日時	平成 24 年 2 月 14 日 (火) 10 : 30 ~ 12 : 30
実施場所	長野市生涯学習センター 4 階第 3 学習室
参加者	【役員】茅野会長、平島理事(議長)、井出理事、沖野理事、原理事、月岡理事、傘木理事、中島理事、高木監事、天野監事、宮入事務局長 【温暖化対策課】室賀氏、春日氏 【専門部会長】久保田氏、中村氏、仁科氏、田中氏、西原氏 【地域協議会会長】松岡氏 【会員】6名【事務局】10名【報道関係】1名 計36名
講師	
記録者	小田切奈々子(自然エネルギー信州ネット事務局)

実施内容



(1) 事務局からの報告

事務局長より配布資料の確認と説明がありました。

- ・資料1：平成23年度事業計画と執行状況
- ・資料2-1：専門部会活動状況報告
- ・資料2-2：地域協議会活動状況報告
- ・資料3：平成23年度事業区分表
- ・資料4：各専門部会運営方針
- ・資料5：3月の行事計画について
- ・資料6：平成24年度地球環境基金助成金交付要望書
- ・資料7：全県型プロジェクト事業計画書

◆地域協議会の設立状況、連携・普及モデルの申請状況
以下の10の地域協議会について、連携が承認されました。

<ネットワーク型>

- ・自然エネルギー佐久地域協議会（仮称）
- ・自然エネルギー上小ネット
- ・南信州自然エネルギー普及協議会（仮称）
- ・自然エネルギーネットまつもと
- ・木曾地域協議会

<特定事業型>

- ・茅野地域協議会
- ・富士見自然エネルギー推進協議会
- ・自然エネルギー利用木材乾燥システム普及協議会（プロジェクト）
- ・自然エネルギー信州ネットファンデーション（プロジェクト）
- ・自然エネルギー見える化大作戦（プロジェクト）

◆会員の入会状況（2012年2月13日現在）

正会員 120名 準会員 84名 賛助会員 9名 計：213名

(2) 専門部会運営方針について

①運営方針について

マネジメント部会長久保田氏、グリーン熱部会長中村氏、小水力部会長仁科氏、バイオマス部会長田中氏、太陽光部会長西原氏、ファイナンス部会長天野氏、政策調査部会長平島氏より、各部会の活動報告と運営方針の概要説明があり、審議後、全ての部会の運営方針が承認されました。

◆意見・質疑

沖野理事より：太陽光部会へのお願い事項として、太陽光パネルなど発電装置のライフスタイルアセスメント（パネル製作～廃棄までにかかるエネルギーなど）についての調査にも取組んでもらいたい。

西原部会長：了解しました。

②専門部会への入会基準について

事務局案をたたき台に、専門部会入会の追加募集について審議しました。

- ・バイオマス部会田中氏：順次希望者を募集し取り組み内容にお互いが納得すれば参加可能としたい。
- ・小水力部会仁科氏：商工会の工業部会や研究会などつながって小水力の話し合いの場を設けたい。
- ・原理事：商工会への呼びかけは今後大事になる。
- ・マネジメント部会久保田氏：部会への参加希望者は随時受け入れていきたい。
- ・傘木理事：参加募集条件は部会ごとに独自に設け、信州ネット全体としては、部会メンバーの

募集情報が常に共有化されていることが大事だ。

- ・高木監事：部会での活動が回転し始めると、部会のイベントなどをきっかけに入会し、信州ネット全体像が見えないまま、部会だけの活動になってしまうと懸念される。今後、信州ネット全体を理解する経験の場を準備しておく必要があるのではないか。
- ・平島議長：各専門部会の運営方針が承認されましたので、部会メンバーの募集について、現会員には再度案内を出して入会を受け付ける。新規会員については、入会申込書を改定して、部会への参加希望を確認する。その際、入会基準について方針がある部会は、明確に提示するという対応がよいのでは？高木監事からの提案はその方向で考える。

以上の審議を踏まえ、部会メンバーの追加募集については、平島議長提案で合意されました。

- ・傘木理事：部会から入った人は信州ネットの会員になるべきと思うが、その仕切りはどうなっているのか？
- ・宮入事務局長：部会メンバーは信州ネットの会員であることが前提である。部会で主催する行事が一般参加可能なのか会員限定なのかは、イベント告知の際に明確にし、一般参加の方の信州ネットへの入会を働きかける窓口となってもらえるとありがたい。
- ・傘木理事：地域協議会会員にも、信州ネットからの情報（メールニュースなど）が流れるしくみが必要だ。

(3) 理事の増員について

地域協議会の会長（または代表者）と専門部会の部会長が理事として加わることについて、総会審議の事前協議として、以下の議論がありました。

（会則により、理事への就任は会長からの委託に基づき総会審議の上、決定となります）

◆意見・質疑

- ・傘木理事：信州ネットが目指しているネットワーク型の組織における理事の役割は何なのか？地域や部会を網羅した形で理事を増やすことは、全県的な組織という見え方の面では良いが、責任の所在があいまいになり、意思決定しにくいものになるのでは？事業がうまくいかなかった場合の責任を負うのは理事である。機動力の面でも、理事はある程度少数で、オープンな運営会議の場で部会長や地域協議会の意見や報告をいただくルールづくりが大事だ。
- ・井出理事：補助金など事業費の流れ、予算配分の決定はどうするのか？理事の条件として、公平性・公明性のある中立な立場であることを踏まえておくべきだ。信州ネットは地域エリアと密接に連携する必要があるので、長野・北信、上小、木曾エリアからの理事が加わることは良いと思う。
- ・中島理事：県も全地方事務所単位で連携を進めて来た結果、木曾や北安曇でも関心が広がっている。一方、理事が存在しない地域には情報が届いていない実感がある。理事の責任について十分説明した上で、地域協議会が立ち上がっているエリアで希望があれば、信州ネットの理事として参加をお願いしたい。専門部会は、信州ネットの重要な実践組織で、対外的にも関心が高い。県の立場からは専門部隊とも一体的に取り組みたいので、責任を持って理事になる方がいると望ましい。
- ・沖野理事：「理事会」と「運営委員会」を兼ねることで、理事の位置づけがはっきりしなくなった。理事の役割が不明確になっているが、運営会議で部会長、地域協議会のみなさんと話し合う場が設けられれば、運営自体には問題はないので、理事の構成についてはしばらくこのままで、増員は継続審議としてはどうか？地域協議会は独立機関なので、資金的にも独立できる場所はそうしたほうが信州ネットとしても動きやすいのでは？
- ・月岡理事：連絡や連携を深める意味で地域協議会からは一人は理事として参加していただいたほうがよいと思う。長野北信地域のように複数の協議会が立ち上がっている所は、その地域を代表した方が1名参加でもよいのではないかと。

・平島議長：部会長だから、地域協議会の代表だから理事になるというのではなく、信州ネットを運営していく上でどういう役割の人が必要なのかという観点で、概ね、認識が一致していると思われる。「理事とは？」についてももう少し議論を深めると方向性が見えてくるのではないかと。

・マネジメント部会久保田氏：マネジメント部会で「理事ミーティング」の開催を考えているので、案件として検討して欲しい。

・宮入事務局長：今後は、信州ネットの名前で申請された事業や地域と連携した事業を行う上でのさまざまな責任も生じてくる。

今日の意見を整理して、メーリングリストで共有化する。

・平島議長：設立から短期間でここまで急速に動いてきたので順序が逆になったものもあるが、ここからはもう少し丁寧に議論を重ねていき、ルールづくりを行いたい。

(4) 3月の行事計画について

事務局長より以下の行事計画案の説明があり、審議の上承認されました。

- ・3月22日『自然エネルギー信州ネット成果発表会・見本市』の開催
- ・3月17日『地球連携フォーラム信州』（主催：信州大学）への参加
- ・3月9日『信州木質バイオマスシンポジウム in まつもと』の主催（バイオマス部会）
- ・3月18日『これからの林業・木材・住宅・自然エネを考えるシンポジウム』の協力

(5) 全県的な事業の提案について

事務局長より以下の全県的な事業計画についての説明があり、審議の上承認されました。

- ・自然エネルギー利用木材乾燥システム普及協議会
- ・自然エネルギー信州ファンデーション協議会
- ・「自然エネルギー見える化大作戦」プロジェクト

◆意見・質疑

・高木監事：「見える化大作戦」の中の「日照率の低い長野県北部地域については無理をしない」という表現は、業者さんにとってはつらい言葉なので・・・。

(6) 総合特区申請について

長野県環境部温暖化対策課室賀氏より、「地域活性化総合特区指定申請」の構想について説明と協力依頼がありました。

◆意見・質疑

県からの説明趣旨と依頼内容：

長野県の強みとして「新しい公共」という枠組みで全国的にも先進的に自然エネルギーに取り組んでおり、信州ネットのネットワークや地域の活動の中で、先進的な活動を総合特区指定申請書の事業計画に織り込ませてさせていただきたい。

信州ネットを主体的なプレーヤーとして、連携して進めていきたい。

3月末の申請書提出に向けて、2月中にディスカッションの場を設けたい。

具体的のある話が必要なので、そのような議論ができる方に参加いただきたい。

県としても信州ネットを推進する上での資金的な獲得を考えている。

マネジメント部会主催の「理事ミーティング」でも、ぜひ議論して欲しい。

・傘木理事：太陽光に特化とあるが、太陽光以外でお金がまわらないのが長野県の実態なので、行政としては太陽光以外の分野も底上げするようなプロジェクトであって欲しい。

(7) 会費について

総会審議の事前協議として、会費についての意見交換が行われました。

◆意見・質疑

・傘木理事：会費を取るのであれば最初からとるべきであった。まだ発足から1年経っていないのに次年度から会費を取るの違和感がある。お金を払う場合の責任や権利を話し合ってから決めるべき。

・バイオマス部会田中氏：会員としては会費を納めて活動するほうが安心感がある。

・平島議長：会費をいただく理由などの道筋や裏づけ立てたうえで、会費を集める方向で進めていきたい。会費に見合ったサービスの事例など、いろいろな情報をいただきたい。

(8) その他

マネジメント部会より、理事同士が率直に意見交換できる場として「理事ミーティング」を3月中に実施したいという提案があり、「理事ミーティング」の開催について合意しました。

◆意見・質疑

・茅野会長：「理事ミーティング」の提案は大変緊急で大事なこと。今までの議論を聞くと「会費について」「理事の増員について」は早急に決めないといけない。

以上